

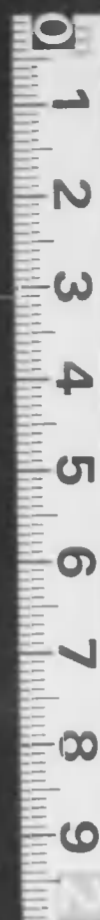
週寫眞  
報

編輯局報情

ノセ十・號九十八百二第・日五十月九



お父さん  
お母さん  
ボクも空へやひて下ろさう



# 空の決戦

断じて勝たざるがば



九月二十日  
航空日

最近の苛烈な戦局を直視する時刻々火花を散らす空の決戦が、帝國の存亡、東亞の興廢を賭してゐることがひし／＼と感ぜられる。「機あれど飛機なきを如何せん」とは、南太平洋の第一線參謀が、敵を殲滅する機会はいくらでもあるだが飛行機がないからどうにもならないのだといふ切齒扼腕、いひやうのない無念さを歎じた歌の一句である。世界に無比を誇るわが陸海の精銳が、たゞ飛行機が少いはつかりに、アメリカ兵などに自由の振舞を許しておく口惜しさを想つてもみよう

飛機には飛機を以て、且つ量には量を以てこそ空の決戦には勝てるのである

いまこそ、われ／＼は米英を空に屈服せしめる鐵石の決意を固めよう。一機でも多く前線に送り、一人でも多く空に飛立つ。これこそ大詔授み、われらが聖戦の完遂に邁進する至上の命令であり、最高の實踐である

〇 本々機を運ぶ輸送機に呼びよせられ  
海軍航空隊員 南太平洋第一線參謀  
撮影 三枝海軍航空隊員

## 時立の札

第三十九號

(日曜水)

昭和十八年九月十五日

物を恃む敵は  
怪物ボーイングを  
空の要塞と號する  
われらは大空に  
盡忠の華を咲かせて  
不壞の要塞とし  
天翔ける御靈に續いて  
敵都に突込まう

「時立の札」は他へ轉載するに御利用下さい



要世界争圖

尊き御身もて示し給ふ

海軍少将久邇宮朝融王殿下

海軍少将久邇宮朝融王殿下には、長くもいま〇〇聯合航空隊司令官として、空への決戦に飛び立たんとする海の雛鷹の育成訓練に、日夜御専念遊ばされてゐる殿下には、かねてより航空関係の要職を歴任遊ばされたが、特に、昨年三月より七ヶ月にわたつて現地〇〇航空隊司令として南方第一線に御出征、親しく航空作戦の指揮をおとり遊ばされ、瘴癘の基地に投ぐも金枝玉葉の御身を以て一般將兵と同じく、決戦場の辛勞を重ねられたのであつた。空の戦ひ愈々、苛烈を加へる今日、殿下には實戦におけるこの貴い御経験より、練習生の訓練状況には特に意を用ひさせられるが、また新たに海鷲を志願し來る青少年についても格別の御關心をお持ち遊ばされ、去る八月下旬行はれた新潟、秋田兩縣下の甲種飛行豫科練習生の徵募に際しては、親しくその状況を御視察遊ばされたほどであつた

御専念は空の海鷲づく南太平洋方面の地圖に御目を注がせ給ふ殿下の御英姿

空への御決意

陸軍少佐朝香宮孚彦王殿下



陸軍少佐朝香宮孚彦王殿下には、長くも去る六月十日宇都宮陸軍飛行學校に御入校以來、炎天下に御親ら操縦桿を御執り遊ばされて飛行術の御研鑽を重ねられたが、御優秀なる御天性と格別の御熱心さによつて各種の高等飛行術をも御修得、卓抜せる御進境を拜して九月九日御芽出度く同校御修學を終へさせられた殿下には陸軍航空總監部部員兼陸軍航空本部部員の要職にあらせられる御年輩にも拘はらず、年若き學生生徒の間に伍せられ、しかも金枝玉葉の御身をも顧みさせられず、空の決戦に率先御垂範の尊い御決心により、御親ら操縦技術の御習得に一日の御休かもなく御勵み遊ばされたのであつた。この間、御父朝香大將宮殿下には飛行學校に成らせられて若宮殿下の御修業状況を御覽遊ばされるなど、この重大なる時期に寄せさせ給ふ御決意のほど拜察するにに畏多い次第である

御英姿は操縦御機を控へさせられた殿下の御英姿

少年諸君よ 空にいかう  
 諸君がつづく限り  
 戦は断じて  
 日本の勝だ

膝へに嵌めた肉體が地上に  
 空間に絶妙な姿態を捕さ、  
 豊饒とした揮動突を展開す。  
 舞のやりに強く、いな  
 舞よりも強く、影へられてゆ  
 く少年達の肉體である。頑  
 健な肉體のみが、よく燃然な  
 る空中戦に勝ち得るのだ

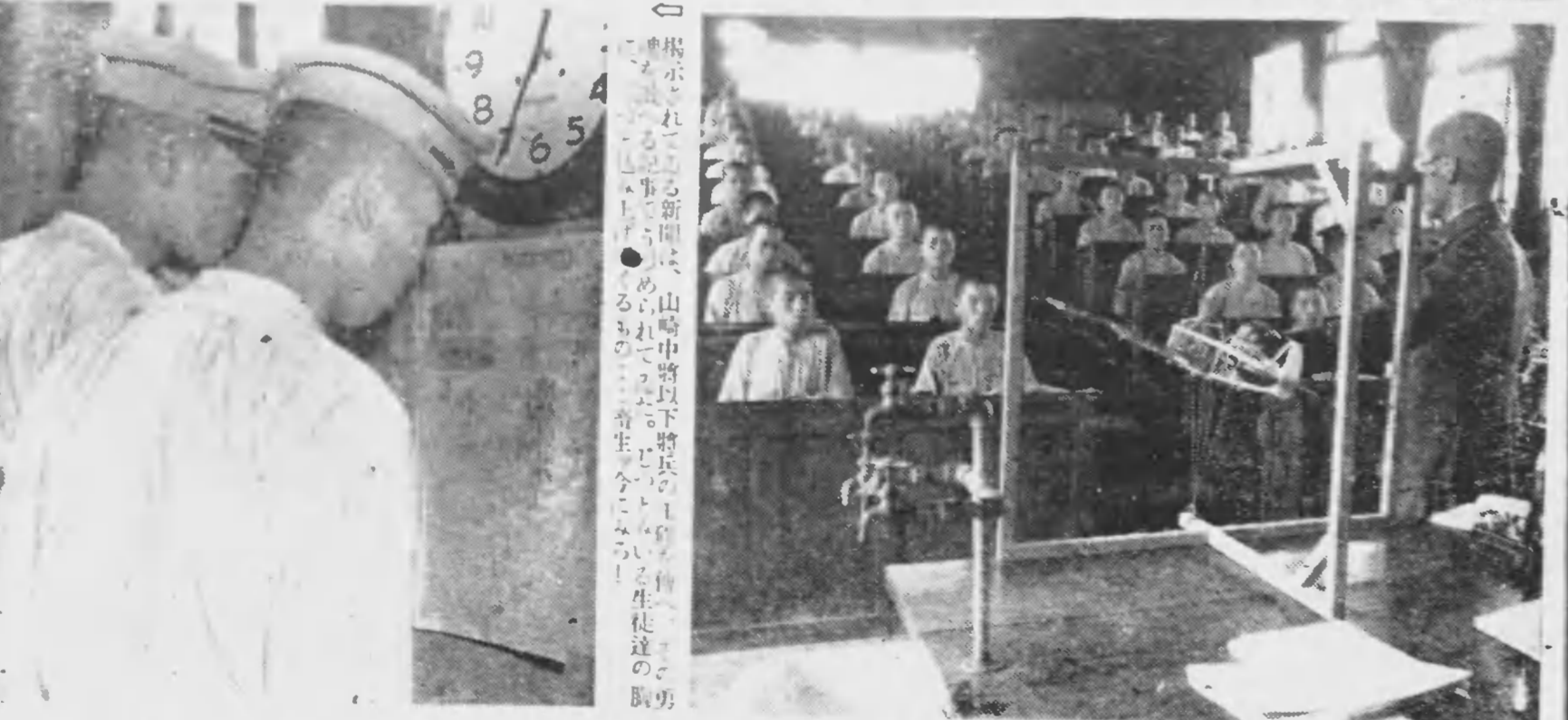
荒就鳥に  
 なる頭と体を

伸びてゆく少年達の栄養補給も十分に  
 考へられてゐる。この學校の食事は四千  
 カロリーで、普通の兵隊さんより五百カ  
 ロリーも多い。全校生が入れるといはれ  
 る大食堂に溢れる嬉しい食慾のはまま  
 物理の時間、今この機が右に旋回  
 するとなると、この重力は……  
 いづれ自分で操縦するときの重大  
 な基礎材料だ。教官の講義に聞き  
 いる生徒達は特に真剣だ

★ 東京陸軍少年飛行兵學校



制服は手紙にないラベロが京陸軍  
 少年飛行兵のやぶかに



陸軍少年飛行兵  
 はかうして育て  
 られる

空にいかう。我等は次ぎの空に  
 なるのだ。と、今年も皆さんのやう  
 な少年諸君のうちから澤山の人数が  
 少年飛行兵を志願され、すでにこ  
 の雑誌達は、陸に海に、逞しい若者へ  
 の第一歩を踏み出してゐるのです

さて、此頃の戦争の様子をみると、新開  
 等を御存知のやうに、わが前線や基地を  
 攻撃してくる敵は百機、二百機、或ひは  
 それ以上の澤山の飛行機でやつてきてゐ  
 ます。これに對しては、こちらでも相當の  
 数の飛行機でかへ撃つてゐるやうに、一  
 對五、一對七、八といふやうな素晴らしい  
 割合で敵機をやつつけてゐるのです  
 が、何といつても飛行機の生産量に  
 敵は、數の多いことをたのみにして、追  
 つはらつても追つはらつても後からと  
 と攻撃してくるのです。これをやつつけ  
 てしまふには、こちらでもまた相當澤山の  
 飛行機が必要になつてきます。そこで  
 今、わが國では全國を飛行機工場につも  
 りで、澤山の飛行機を作つてゐますが、  
 何といつてもこれを飛ばせて、敵と戦ふ  
 のにはもつと、澤山の荒鷲がいるので  
 す

すでに雑誌を志して飛び立つた君達の  
 やうな少年諸君が、飛行服姿も涼々し  
 く近代科學の粋である飛行機にうち乗つ  
 て、敵上空に鷹を舞かす勇姿をおもつ  
 てみて下さい



## 飛ぶ荒鷲に

### ★ 宇都宮陸軍飛行學校

飛行練習の開始に先だつて隊長からこゝろと注意がある。一つ／＼思ふ當ることは、大きな立時地固をかこめて、地固の講義がはじまつた。いつか見下すことができる大尉の、インドのいな米大尉の地固はどんなだらう

この荒鷲こそ、少年諸君、君等に與へられた輝かしい任務なのです。空にいかう、僕は大きな荒鷲なのだ、更に深山の少年飛行兵が皆さんのうちから飛び立って、戴きたいのです。さうしてこそはじめて、敵機を一機のことすら、き落すことができるのです。

### 東京陸軍少年飛行兵學校

東京の中心から約一時間、中央線立川駅からバスで約十五分、松と探にかこまれた武蔵野の一隅に、幾棟も連なる兵舎、これが少年飛行兵の操縦、東京陸軍少年飛行兵學校です。試験に合格すると、まづこゝに一ヶ年間入校する。この學校は航空兵幹部に必要な性格、徳性、氣概をもつて第二軍目に入る學校生徒としての資質を與へるところで、少年飛行兵の基礎教育を受けるのです。國語、作文、數學、歴史、主として航空兵に關係のある物理、化學等の普通學、兵器學、地形學等の軍事學、教練、射撃、體操、劍術等の術科から、滑空機等の課外野外演習、野營、游泳、軍歌教育等が授けられますが、とくに體力の増進には主力が注がれます。

この學校に入る當時は、國民學校六年卒業程度なのが、一年後には中學三年位の學力に進み、體力は中學の同年齡生徒にくらべて遙かに向上し、みな筋力とした筋骨となり、立派な軍人精神を體得して卒業してゆくのです。

この間には、軍隊の教育は規律が正しいから辛い時もありますが、その代りにまた楽しい時もあります。だが一頁としてこの學校に流れてゐるのは至誠、純眞、元氣、周到の校風と、隊長、教官のまごころをもつた親心の指導ぶりです。そのためにはとくに少年達の家庭事情まで細かくしらべて、個人指導には特に力をいれられてゐるのです。

このほかに、大津市にもこの學校の分校場があつて、こゝでも全く同じ教育が行はれてゐます。

さて、こゝの一ヶ年の教育をへると、厳密な適性検査をした上で、操縦、整備、通信等に分れてそれ／＼専門の教育を受けることになり、それ／＼の學校へ行くことになるのです。

### 操縦生徒

東京少年飛行兵學校を卒へて操縦科の生徒ときまつた者は、熊谷、宇都宮、太刀洗の各陸軍飛行學校に分れて入校し、一ヶ年は地上教育中隊で一般教練や軍事學、操縦に必要な飛行機の構造、機能、取扱法、滑空訓練等と地上の操縦教育が與へられますが、この一年をすませると、いよいよ操縦教育を受けるために操縦教育中隊に入り、憧れの大空に舞ひ上るのです。そしてこの一年間に、最初の同乗飛行からはじめて單獨飛行に、更に特殊飛行として、返りや機軸等の高等飛行、中間練習機、高等練習機の操縦、野外空中航法等と、基本操縦術を修得してこの學校を卒業するのです。



# 飛飛ばせる荒鷲鳥に

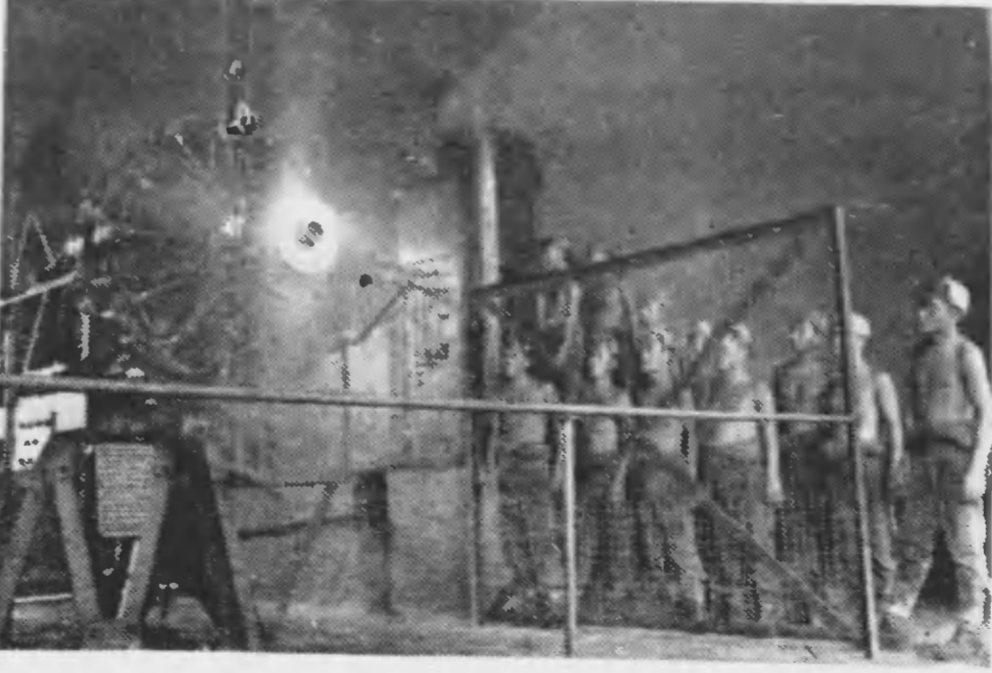
「プロペラの装着作業。大気を切つてこいつがアウソクと回動するとき、整備生徒は快心の微笑をもちます」

## ★ 所澤陸軍航空整備学校

「新設校を楨に置いて飛行機学の勉強。こんな素晴らしい教室はほかにあるだろうか。この教室に学ぶことのできる誇らしさ、整備生徒は黙々と技術の修行にいそしむ」

「秋へられた通り組立てた空軍機の試運転。よし調子は上々だ」

「資格 年齢は入校の時に満十四歳以上十七歳までのもので、學歷は何の制限もありませんが、國民學校初等科修了程度の学力があればよいのです。身體が丈夫なことが航空隊では第一條件ですが、身體検査はしっかりと行はれますが、人並以上でなければならぬといふことはなく、人並の體格であればよく、眼だけは最も大切なもので特に厳重にしらべられます」



「機素容接器が白熱の溜をまく。機頭に頭取をあげて前線の基地に送つた愛機の武裝の傷痕を修理して、また大い決闘の空に飛び立たせることが出来るのもこの技術があればこそだ」



## 技術生徒

整備兵になるものはわが國航空の發祥地、所澤にある陸軍航空整備學校に入校するので、こゝでは機師、金風、電機、専門に分れ、飛行機が飛び出すまでの仕事、飛行機での點檢修理に専門的な能力を修得するのであつて、數千箇からの部品を、教へられた通りに組立てた機關にピカ／＼に磨き上げられたプロペラをとりつける。やがて「點火」の號令に、俄然轟々たる爆音を立てて活動を開始する瞬間こそ、整備に當るもののみが知る無上の快味なのです。「整備あつての無敵空軍」といはれるので、この學校での修業もまた操縦とともにわが荒鷲の威力となるものです。

## 通信生徒

通信隊は航空部隊の眼であり耳であつて、飛行機から通信を取りのぞくと、飛行機は忽ち盲目となり野蠻となつたやうなもので、戰爭はもとより、飛行もできないことになつてしまひます。たとへば偵察に行くにしても、通信がなければ一基地に歸つて報告しなければならず、これでは戰爭の間におひつこはありませぬ。索敵の無常によつてブリンズ・ネブ・ウェルス、レパルスを撃沈できたのも通信の力が大きかつたことを思へば、大事な無線に一字一音も誤りがあつては大變です。これを修得するために入るのが茨城縣水戸市にまゝる陸軍航空通信學校です。

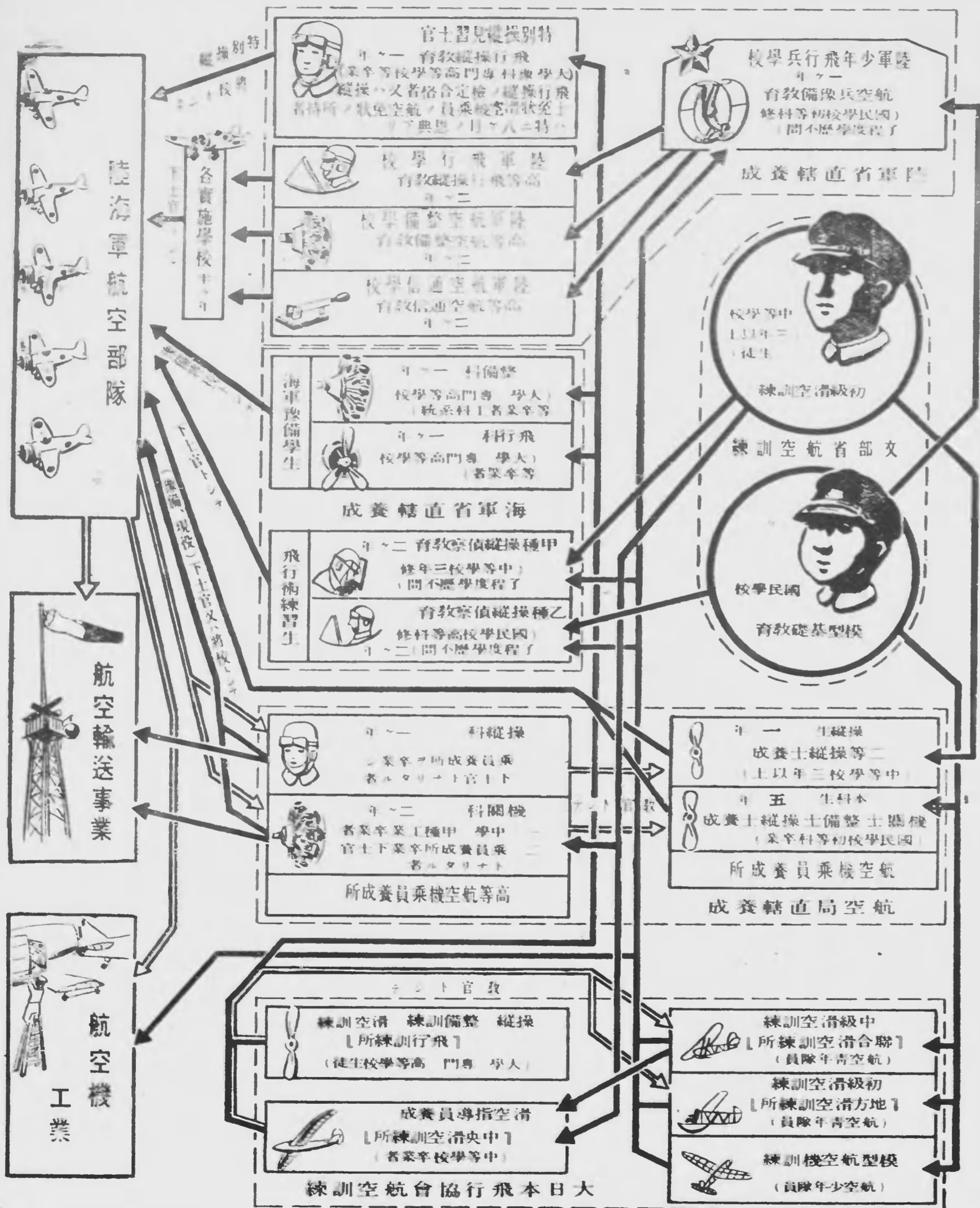
さて、以上の各専門の學校を卒業すると同時に、少年飛行兵達は兵長となり、各部隊附となつて更に猛訓練を重ね、半年後には「陸軍任長」の辭令を戴いて判任官となり、こゝで少年飛行兵の名を捨てて航空兵下士官として任務につくのです。

## では陸軍少年飛行兵になるにはどうしたらよいでせう

志願の仕方 は先づ陸軍航空本部、陸軍少年飛行兵學校、全國各縣隊區司令部、各市町村役場等から「東京陸軍少年飛行兵學校生徒志願者心得」と「志願票」を請求して必要なことを書き入れ、戸籍抄本を添へて自分の希望する検査場のある土地の聯隊區司令官宛に差出すのです。特に注意することは志願票には親か後見人の同意を得たことを明らかにするために、その欄には親権者の手で署名捺印してもらはなければなりません。入校は毎年四月と十月ですが、願書の締切は大體その四ヶ月位前になつてゐます。

採用試験 は身體検査と學科試験と適性試験とがあり、學科試験は身體検査に合格した者だけに限られます。身體検査日は入校の二ヶ月前ですが、受験地の聯隊區司令部から少くとも七日前までに本人宛に詳細に通知されます。受験の際には必ず寫眞をもつていかなる場合も、寫眞は手札型單獨半身寫眞で、表紙のつかない茶紙製十五センチ横十センチに貼り、餘白の右側に本籍地、左側に氏名を記し、裏側に受験中の宿所を書きます。この身體検査に合格すると學科試験ですが、科目は算

# るあけだれこは道く行へ空が君諸年少青



# に耳や目の驚荒

校學信通空航軍陸★

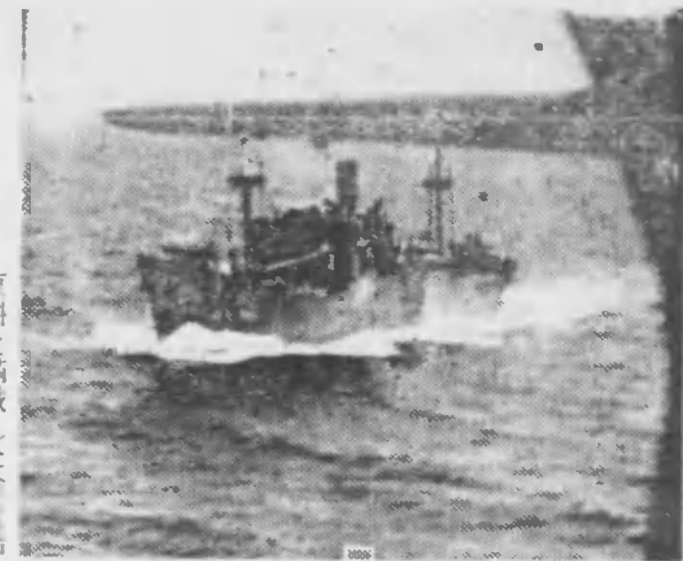


電報を解する通信生徒の感奮は、精緻な機械のやうに一字一音を發信する結果となるかと思はば、今神經を針のやうに鋭くして進歩をうけてゐる。上右

海軍少年飛行兵になるについては本誌五月二十六日發行第二百七十三號に詳しく寫眞と記事で説明してあります。その號をご覽下さい

敵、國語、それに適性検査があります。これに合格すると報告が決定され、入校前1月前項には直接本人に陸軍航空本部長から採用者にだけ通知されます。かうして全国から選びに選んだ身体強健、學術優等な少年諸君が陸軍少年飛行兵となるべき東京陸軍少年飛行兵學校生徒の候補者として學校に召集、なほ一回の検査の後いよいよ合格すると、カーキ色の制服、銃剣、新しい靴、新しい帽子が支給され、夢にまでみたあこがれの少年飛行兵學校生徒として晴れの入校式に列するのです。少年諸君、君等は明日の荒鷲だ。心算あるこの任務にこそつて志願しよう

最後に日本中のお父さんお母さん方に申し上げます。既に子供の心は親の考へてゐるよりもはるかに進んでゐるのです。子供はすでに空にあこがれ、空にいくことを決意してゐるのです。たとふ両親が空にいけないと言つてゐるだけなのです。子供達のこの眞剣な、熱烈な希望をゆるし、進んで激勵してあげて下さい。正行の母の心は、あなた方の心にもある筈です。それが、今日の日本の父親の、母親の大きな愛といふことができると思ふのです



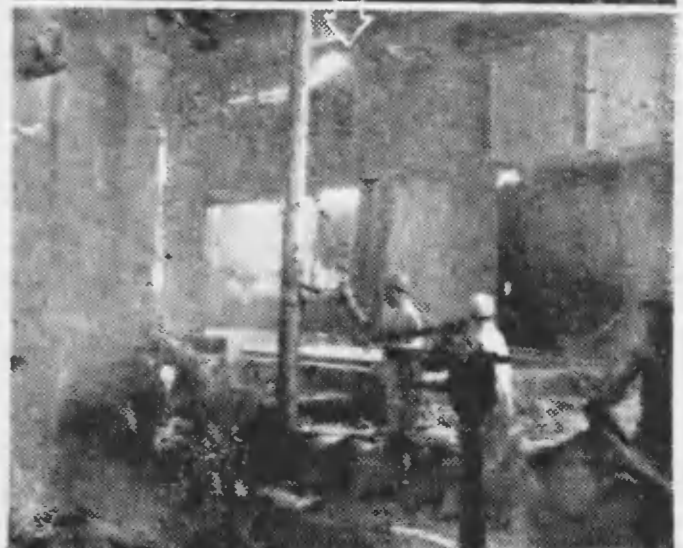
原料を満載した船



荷揚げされたボーキไซด์



掘り出された石炭



袋に詰められたアルミナ

假に十五万機を造るためには、ボーキไซด์を原産地から運送するだけで、約四百万トンの船舶が要る

このためにボーキไซด์約四百八十万噸を要し

それとほぼ同量の石炭を要するほか、苛性曹達等の原料を要する

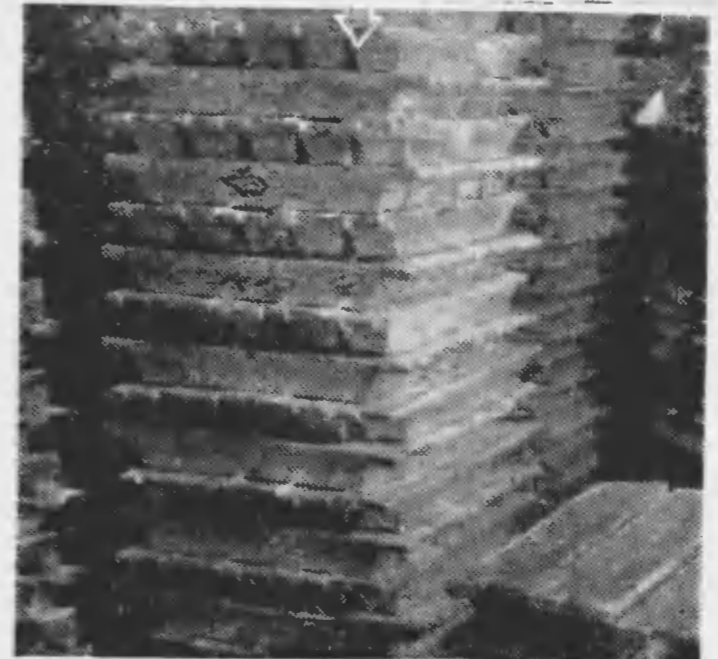
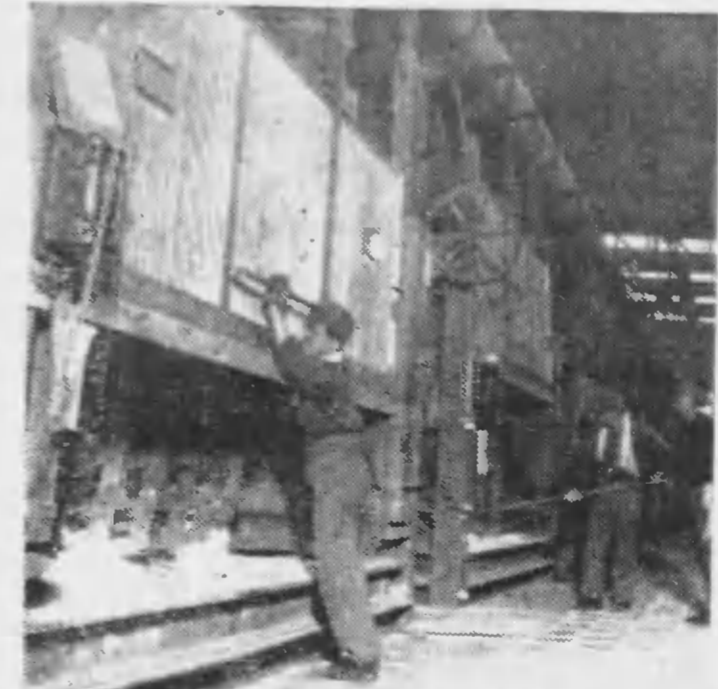
かくして出来たアルミナを

# 飛行機十五万機を造るには

## ★機には機を、量には量を

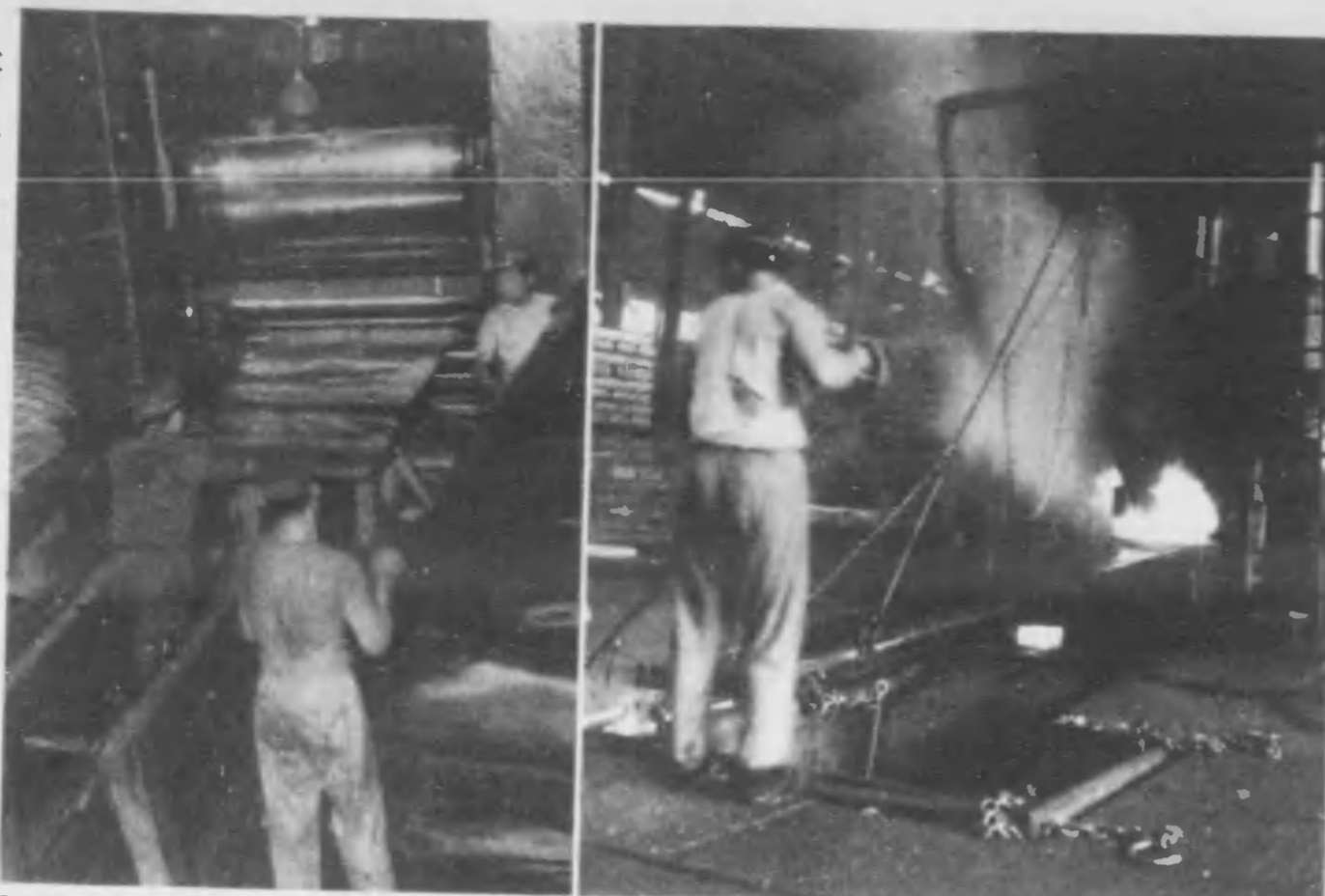
物を持つ敵は、南太平洋の我が基地に百機、二百機の編隊で来襲しつゝある。一機以て十機を潰滅せしめる皇軍の攻撃に報いるには、我ら國民が敵に倍する機を造り、量を以て敵を撃倒せしむる必要がない。アメリカは年産アルミニウム百万トン、航空機十二万五千機を目ざし、自國軍工場を飛行機工場に轉用し、全能力を發揮して増産に必死となつてゐる。イギリスもまた、我が國の大企業であつた繊維工業を、わづかに一、二割減して他をすべて軍需工業に改組したといはれる。敵も必死なのだ。

さて、この飛行機を造るにあつて、いま假に年産十五万機を造るには、原料のボーキไซด์が内地に産出しないため、東インド諸島、マライ半島、佛印等から持つて来なければならぬ。この輸送だけで船舶四百万トンを要する。その他ボーキไซด์とほぼ同量を要する石



電解してアルミニウムをつくるため塊状のこの純アルミニウムを必要とする(アルミナを電解するには、電解槽である釜石その他が必要である)電解槽

炭、浙東作戦によつて獲得した螢石、苛性曹達の原料塩等、殆んど原料のすべては、大東亞共榮圏の各地から輸送されねばならないので、如何に船舶が要するか明らかである



度の一枚一てれらけかに機延機はンミルラヂの状瓦煉 度百五氏攝みとし熔をンガンマとムウシネグマと鋼にムウ=ミルア純  
るれら根もに體嗣もに翼にぐすがたこ るなと板いす  
る上米出がンミルラヂい強ひ行を便時れ人焼し入投に水らか位  
るれか菜と山に開く橋は板延たれさ延紙のンミルラヂに形のままさま

次に、これら原料から造られるアルミニウムを一トン精錬するには、電解槽に約三万キロワット時の電力を必要とする。従つて百万トンのアルミニウムを精錬するためには、約三百億キロワット時の電力を必要とする。この電力は板を國の家庭が三十ワットの電燈を二燈づつつけるとして五万時間つけるだけの莫大な電力なのである。また一方、發動機だけで何千箇もある部分品の製造から組立まで、航空機の製造には、莫大な電力を必要とする。

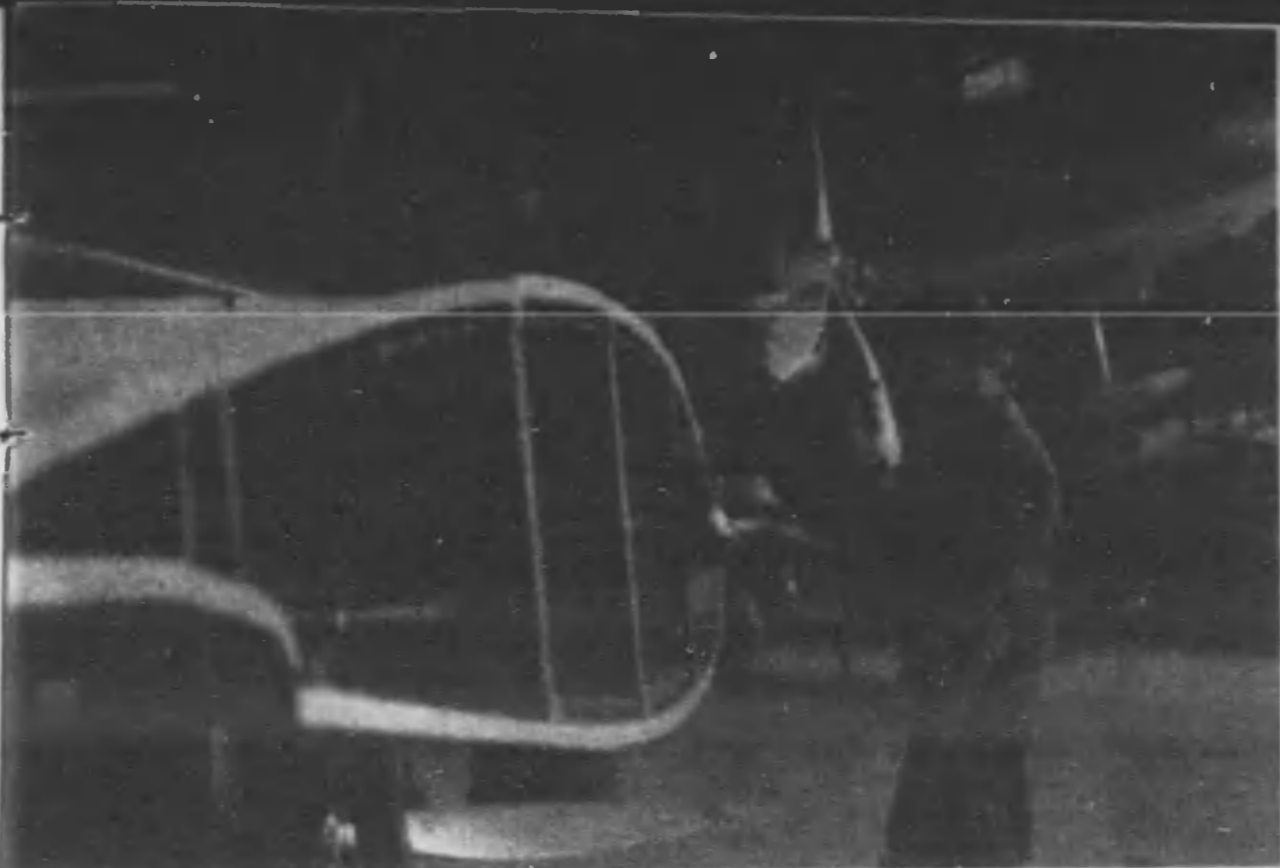




これにあたる熟練工もまた多数を要する。しかも、精密機器である航空機の生産にあたるやうな熟練工は、一朝一夕にして育てあげられるものではない。相当長期の訓練を経た後に、ようやく生み出されるのである。

決戦の秋、航空機の飛行的増産をめざして原料資材の獲得に、工作機械の増産に、今や国民一致、懸命の努力が拂はれてゐるが、直接航空機製造にあつてゐる労働者階級は、日本の陣地を双肩に擔つてゐるのであるから、何といつてもまづ、力限り根拠地の奮闘を続けよう。實際、かりに百万の労働者も一し不心得にも一割の能率を減じたとなれば、十万の労働者を二

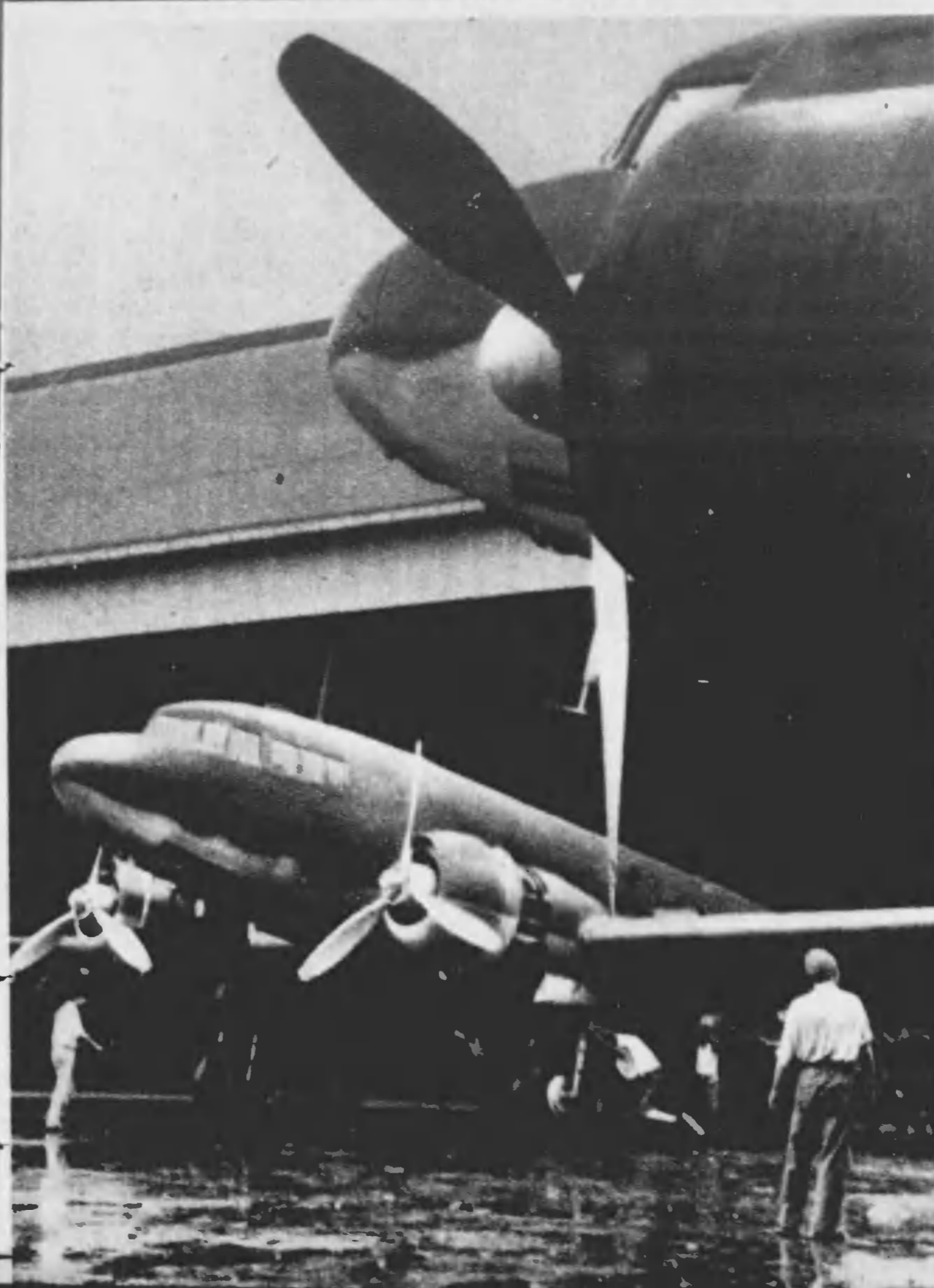
〇 裏の仕上げ作業、向ふには組立を急ぐ大飛行機が飛立つ時を待つてゐる



朝に失つたことになり、逆に一割の能率をあげれば十万の労働者を一朝にして新たに獲得したことになる。この手ゆるめば、正に戦力はゆるむのだ。

また、直接航空機の製造にたづさはらないものでも、間接にはいくらでも航空機の増産に貢献することができるのである。節電すること、衣料、食料を節約すること、不急の旅行はやめること、すべて原料資材の獲得に役立ち、健康な子弟を工場に送ることは即ち、生産戦士を一人でも多くふやすこととなるからである。一億こぞつて航空機の増産へ突撃しようではないか

〇 一機また一機、組立を急ぐ大飛行機を工場から押出す工員の際は勇む



**産業戦士諸君よ  
頑張らう  
諸君の健闘ある限り  
生産戦にも断じて  
勝てるのだ**

〇 發動機だけでも何千箇の部分品があるといふ。その精密な各部に寸分の狂ひなく、しかも一刻を争つての大生産である



陸軍航空本部監修  
愛機南へ飛ぶ

松竹作品



海軍省後援 決戦の大空へ



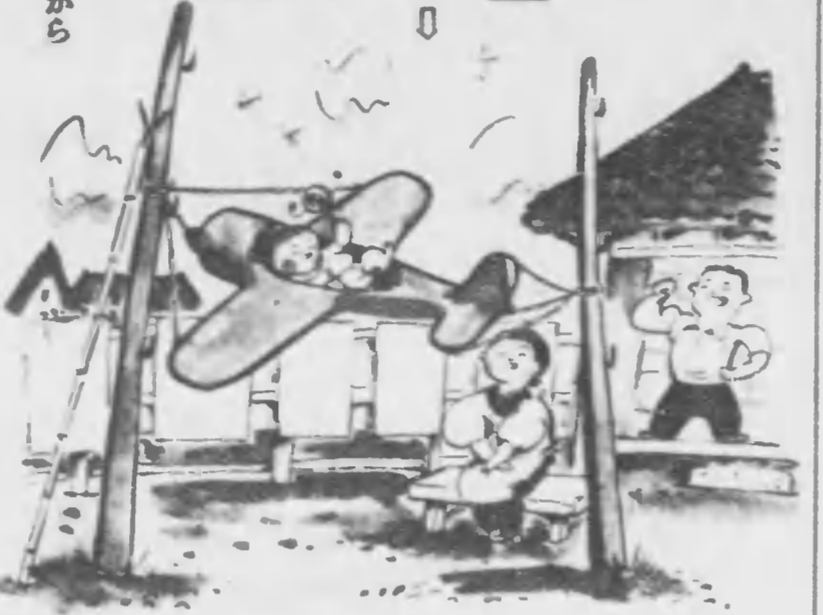
今や西南太平洋において、敵は必死の反攻を企圖し、皇軍は忠勇果敢なる奮戦によつてこれを撃砕し、戦局は愈々苛烈なる様相を呈してゐる。國民は總力を擧げて戦力の増強に邁進しなければならぬ。就中、航空戦力の飛躍的増強は急務である。これに應じて、精鋭以來蘇々たる戦果を挙げつゝあるわか陸海軍の敢闘精神とその育成過程を描いた松竹「愛機南へ飛ぶ」及び東寶「決戦の大空へ」の二つの映畫が同時に發表される。

「愛機南へ飛ぶ」は陸の荒鷲を志す愛兒が大空に飛び、自らもまた航空工場に働く母親の限りなく深い愛情と、初志を貫徹し驍勇となつたその子が、南方戦線において偵察の重任を遂行し、武勳を擧げるまでの烈々たる取調精神を描いたものであり、「決戦の大空へ」は上海海軍航空隊における海軍飛行隊科長習生少年航空兵の明朗剛健なる訓練と生活を劇化した周囲の人々の美しい愛情を描いたものである。けれどもが精緻なる荒鷲の純忠至誠なる攻撃精神を描いたもので、決戦下の映畫として廣く一般に認めらるるものである。

★表紙  
自分は三重海軍航空隊で訓練を受けてゐる甲種飛行科練習生です。中學校三年修了で昨年十月八日、いよいよ飛行兵長です。三重航空隊は主浦航空隊、鹿兒島航空隊等と同様、海軍となる基礎を強くするところですが、體もこなに強くなりました。海軍魂も打ち込まれました。来年の春にはこゝを修了して一段上の航空隊に入ります。操縦桿を握つて實際に空に飛び立つ日を毎夜のやうに見ます。敵機をガンとやっつける夢を、君たちも早く來給へ。待つてゐます。

照準器

空へ一機進軍



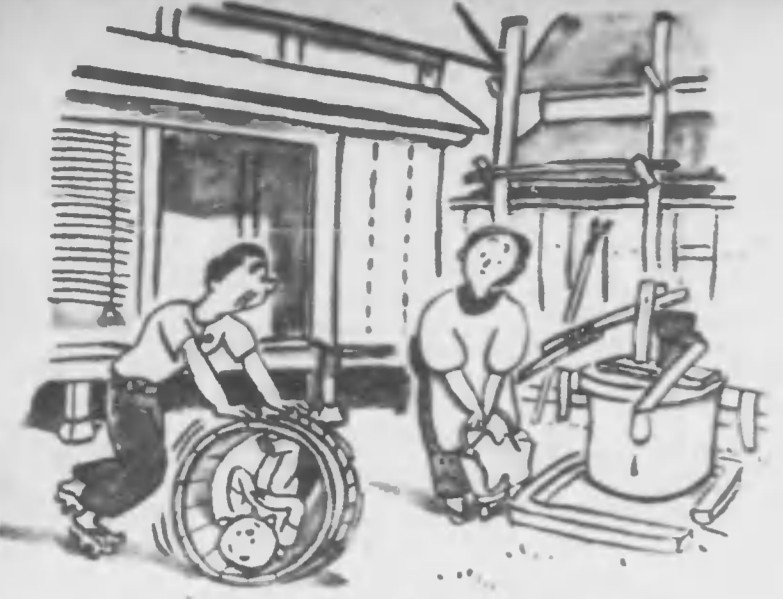
日本男兒一歳にして  
杉 匠夫  
「立派な機に育て上げ  
るために、小さいうちか  
ら空に馴れさせようと思  
つて、お父さんごんが  
品床をこさへて購置し  
たのよ」

横濱反轉、今のうちから  
秋 玲二  
「ちよつと待つてくれ、  
目下調練中だ」

大空一家



父「いよ／＼、ヒマの牧場だ」  
子「いよ／＼、僕も卒業です」  
母「お父さんのヒマが飛行機の潤滑油になる時、あなた  
は大空へ飛び立つて下さいよ」



父親の決意  
兼 熊 猛  
「三人とも空に飛びようと思つて今か  
ら航空教育なんだよ、君」



投げられること即  
實験訓練  
榎本 映一  
「先生、もつとフッ」に  
なるまで投げして下さい。由  
返りや、落下傘着陸時に必  
要ですから」



荒鷲の卵  
海 雄 郎  
「お老には荒鷲の卵がいち  
つしやるから、鶴の卵で失  
禮ですが、ちんと召上つて  
下さい」



重慶の米空軍防空演習  
小泉 実 郎

實力ありや否や奇襲部隊隊長  
石川 進 介

本誌掲載の寫真中、撮影者名或は提供者名を特に附してゐないものは財団法人寫眞協会の製作にかゝるもので  
又、海軍關係の寫真複製は海軍省承認済第五二四二號です

寫眞週報 昭和十八年九月十五日 航空機乗員養成所

# 空之決戦場

## 航空機乗員養成所



生徒募集

### 募集要項

修業年限

本科生 一五箇年  
操縦生 一箇年

應募資格

年 本科生 自昭和五年四月二日  
至昭和七年四月二日  
操縦生 自大正十三年十二月二日  
至昭和十一年四月二日  
間ニ出生ノ者

本科生 國民學校高等科第六學年  
修了以上ノ者  
但シ昭和十一年迄ニ修了見  
込ノ者ヲ含ム

操縦生 中等學校第三學年修了以  
上ノ者

募集切十月十日

詳細ハ志願者心得参照ノコト  
最寄郵便局又ハ航空機乗員  
養成所ニアリ要郵券四錢

# 航空局

<p>寫眞週報 昭和十八年九月 十五日 印刷發行</p> <p>禁轉載</p>	<p>定價 一部十錢 二部十錢 外部郵送ニ依 ル地域ハ送料 其一部十九錢 ▲特入紙の場合ハ 其の都度即座込 金より差額を申 込メテ</p>	<p>中 全國各地官報 販賣所</p>	<p>込 書店・雜賣店 新聞販賣店 寫眞材料店</p>	<p>所 本誌を回覽に て同數する等、出 來るだけ有効に御利 用下さい</p> <p>前線慰問にも またお読みになつた ら本誌を前線慰問に 送りませう。送料は 内地と同様で封封あ るは開封にして第 一報一錢です</p>
---	---	-------------------------	-------------------------------------	---

内閣印刷局印刷發行

昭和十八年九月十五日